

水道管が 更新の時期を迎えています

毎日何気なく使っている水道水。実は、地中に張り巡らされた総延長約**564km**もの水道管を通して、皆様のご家庭に届いています。

市内の水道管の多くは40～60年前に布設されたもので、耐用年数の目安(40年)を超えた管路は全体の**約20%**となっています。
将来にわたって安全で安心な水をお届けし続けるため、管路の更新が必要です。

市では、**AIによる劣化診断**などを活用しながら**管路の更新・耐震化**を進めています。

更新には**地震に強い耐震管**を採用しています。安全を次の世代へつなぐため、市は引き続き水道インフラの維持・強化に取り組んでいきます。



老朽管の掘削・撤去工事の様子



新しい耐震管の布設工事の様子

安全で強い水道を未来につなぐために



更新・耐震化

老朽化した水道管を更新し、地震に強い耐震管へと布設替えを進めています。



AIによる劣化診断

AIなどの新しい技術を活用し、劣化状況を的確に把握して、効率的・効果的に更新を進めています。



安全な水を次の世代へ

将来にわたり、安定して安全な水をお届けするため、水道インフラの維持・強化に取り組んでいきます。



水は暮らしに欠かせない大切な資源です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

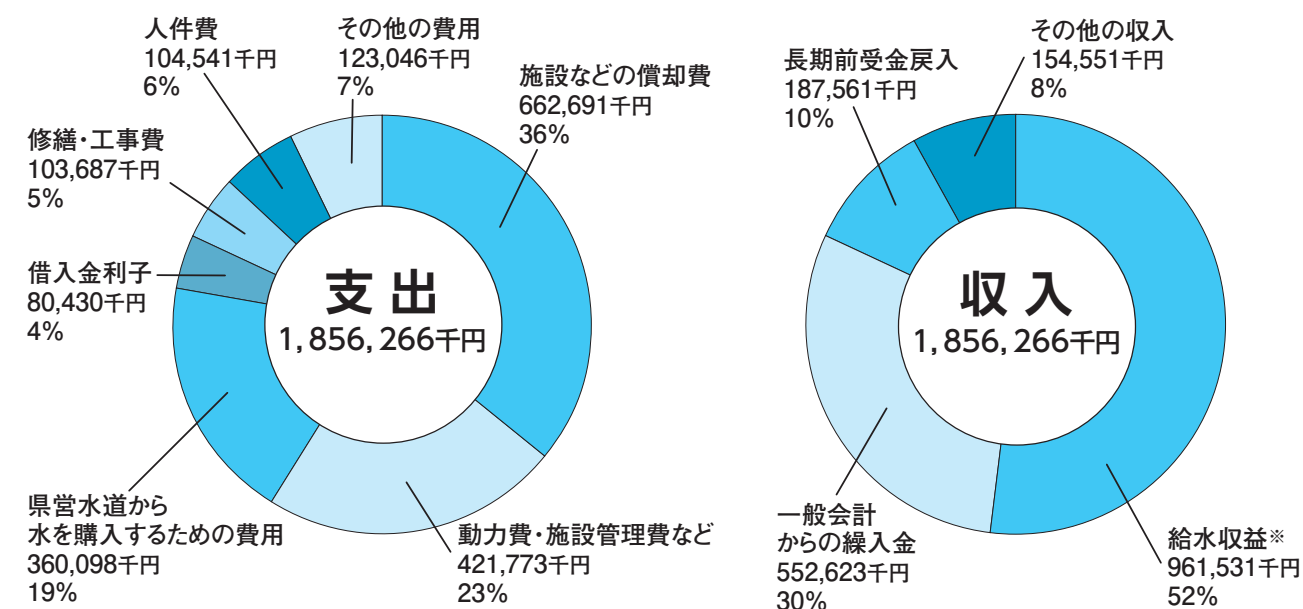


暮らしを支える水道水

水道事業の経営は、市民の皆さんからお支払いいただいた水道料金収入などで経費を賄う「独立採算制」を基本としています。安全な水道水を安定してお届けするために、水道施設の整備を推進するとともに、老朽化した水道管を更新するための布設替工事を引き続き行っています。

令和8年度予算の概要

水をお届けするための予算



※「給水収益」は基本料金無償化（令和9年2月請求分まで）による減収分を見込んでおり、「一般会計からの繰入金」にはこの減収分の補てんが含まれています。

施設を維持するための予算

